

Welcome to 沼土

2023年 6月1日

編集発行：静岡県沼津土木事務所

富士山火山噴火対策

土石流の発生状況



火山噴火対策とは？

●噴火災害に備えた砂防事業を推進します！

平成12年10月から平成13年5月にかけて多発した低周波地震を契機に、国及び関係する県・市町村は、平成16年6月に「富士山火山ハザードマップ」を公表し、令和3年3月に改定しました。

また、平成17年6月には、県の防災会議で、富士山火山噴火対策を「静岡県地域防災計画」に盛り込んでおり、平成18年2月には国として「富士山火山広域防災対策基本方針」が中央防災会議で決定されました。

<最近の動き>

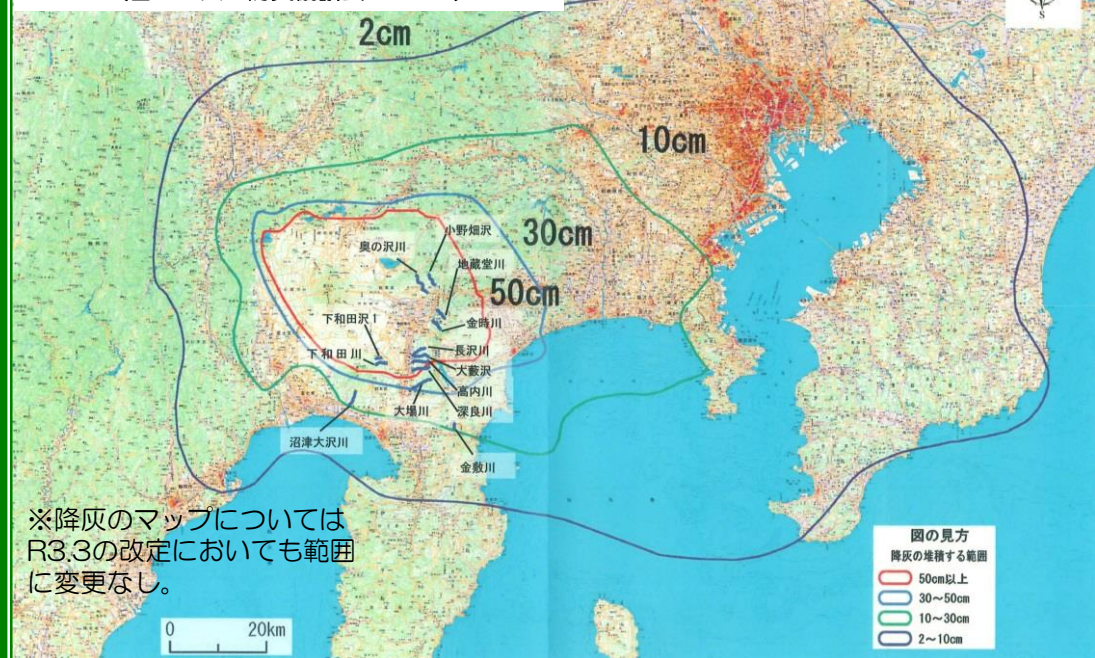
- 平成20年度 「富士山火山噴火緊急減災対策検討会」「富士山火山砂防計画検討委員会」の実施（国・県・学識者）
- 平成21年度 「富士山火山砂防計画の策定方針」の検討、「富士山噴火を想定した危機管理訓練」の実施（国）
- 平成24年度 「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画（案）」の作成（国）
- 平成25年度 「静岡県ワーキンググループ」の実施（国・県・市町）
- 平成26年度 「第4回富士山火山噴火緊急減災対策検討会」の実施（国・県）
「第2回静岡県ワーキンググループ」の実施（国・県・市町）
- 平成27年度 「第5回富士山火山噴火緊急減災対策検討会」の実施（国・県）
- 平成28年度 「第6回富士山火山噴火緊急減災対策検討会」の実施、対策協議会から法定協議会に移行（国・県）
- 平成29年度 「第7回富士山火山噴火緊急減災対策検討会」の実施、富士山麓全周における緊急減災対策砂防計画の策定（国・県）
- 平成30年度 「富士山火山砂防計画検討委員会」の実施（国、県、学識者）、富士山麓全周における緊急減災対策工事の直轄化。
- 令和2年度 「富士山火山噴火緊急減災対策協議会」の実施（国・県・市町）、想定火口範囲の拡大等、新たな知見を踏まえ、平成16年6月に公表したハザードマップを改定。
- 令和3年度 ハザードマップの改定を受け、緊急減災対策砂防計画の見直しに着手（国）

沼津土木では何をするの？

●土石流対策として既設堰堤の機能を回復させます！

砂防堰堤は、火山噴火に伴い発生する降灰後の土石流や融雪型火山泥流、溶岩流を捕捉し被害を軽減する機能を有していると考えられます。富士山周辺にある既設の砂防堰堤の中には、満砂状態であり、捕捉機能が低下しているものがあり、これらの堆積土砂の除去を行い、堰堤の捕捉機能の回復を図ります。

富士山火山防災マップによる降灰可能性マップ
(富士山火山防災協議会 H16.6※)



資料収集
(地理・地質資料)

モデル渓流抽出
土質試験

堆積土砂の活用検討
(箇所・時期調査)

堆積土砂の搬出
計画の策定

工事実施